

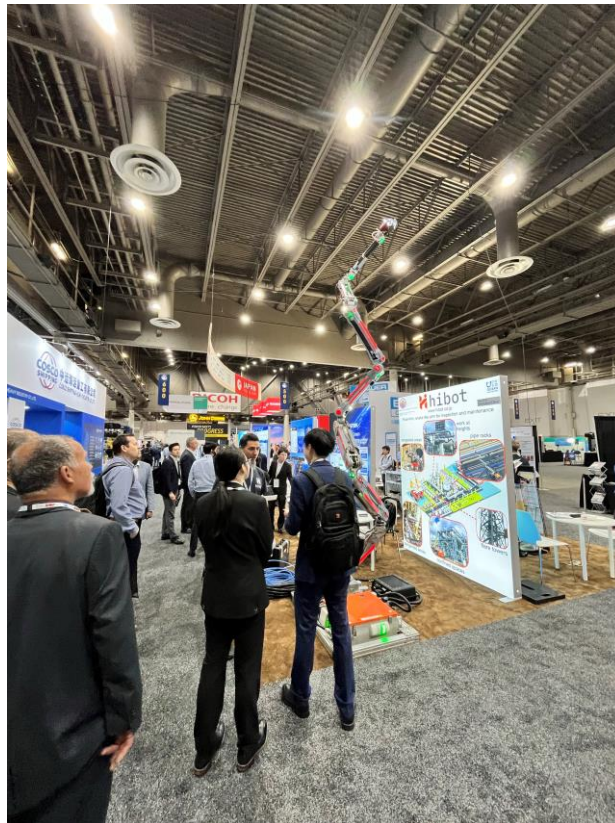
## Float Arm

# 米国ヒューストンにて開催の Offshore Technology Conference (OTC)、DeepStar テクノロジー シンポジウムにおいて注目を集める

株式会社ハイボット(本社：東京都品川区、代表取締役社長 ミケレ グアラニエリ、以下「ハイボット」)は、米国・ヒューストンで5月1日から4日まで開催された「Offshore Technology Conference (以下、OTC)2023」において、初めて米国市場向けに Float Arm の展示を行いました。

OTC とは、毎年米国・ヒューストンで開催される、オフショア関連では世界最大規模の展示会であり、石油や天然ガスを中心とした海洋エネルギー資源に関連する技術知識の交流が行われており、主催者発表によると、今年は 31,000 人以上の来場者がありました。

日本船用工業会 (JSMEA)、日本貿易振興機構 (JETRO)、日本財団とともにジャパンパビリオンにて DeepStar(\*)プロジェクトのメンバー企業として招待され、当社技術を PR する機会を頂きました。





Float Arm プロジェクトは、日本財団-DeepStar 連携技術開発助成プログラムもとで実施しているプロジェクトであり、エンドユーザーやサービスプロバイダーから、RaaS (Robot as a Service)モデルの Float Arm やその他サービスに関するお問い合わせが米国や南米、アフリカより多数寄せられました。

(\*) DeepStar とは、シェブロン（アメリカ）、ペトロbras（ブラジル）、シェル（イギリス）、エクソンモービル（アメリカ）、INPEX（日本）など世界中の海洋石油・天然ガスの探査・開発・生産を担う企業や、これら企業に製品・サービスを提供する企業、大学、研究機関などから成る海洋技術開発のコンソーシアム。

## Present DeepStar Core Members



参照：the DeepStar org website : <https://www.thedeepstar.org/members>

また、OTC 翌日 5 月 5 日には米国石油大手シェブロン（Chevron）のヒューストン拠点「DeepStar テクノロジーシンポジウム 2023」が開催され、当社の代表取締役社長であるミケレ グアラニエリが登壇し、当社も日本財団と DeepStar によるプロジェクトの初年度成果や Float Arm に関する発表を行いました。

シンポジウムでは、新規プロジェクトやフェーズ 2 プロジェクトへの新たな資金調達（ファイナンス）の発表によりハイボットも一部割り当てを受け、シェブロン、エクソンモービル、シェル、ペトロbrasからも高い評価を得ることができました。



ミケレによる初年度成果報告の登壇の様子

我々はオフショア向けソリューションのグローバル展開に注力していますが、DeepStarの各メンバーが米国内でのオンショア・アプリケーションへの高い関心とニーズも示していることから、米国での活動開始も視野にいらしています。

#### ◆Float Arm(フロートアーム)について

Float Arm は、広い可動範囲とフレキシビリティを両立した、これまでにないインフラ点検用ヘビ型ロボットアームです。独自の自重補償機構により、軽量でありながら5mのリーチと多関節構造を実現したこの Float Arm は、モーションコントロール技術によって、狭く見通しの悪い環境にも進入し、点検作業を行うことができます。また、軽量で設置スペースも小さいため、無人搬送車や高所作業車のような既存のシステムに搭載して使用するなど、多様なアプリケーションに対応します。

詳細は[こちら](#)をご参照ください。

#### <会社概要>

会社名：株式会社ハイボット

所在地：東京都品川区北品川 5-9-15

代表者：代表取締役社長 ミケレ グアラニエリ

設立日：2004年4月15日

コーポレートサイト：<https://www.hibot.co.jp/>



東京工業大学の広瀬茂男教授、ミケレ グアラニエリ、パウロ デベネストを中心とする創業メンバーによって、先端科学技術の産業応用を目的に 2004 年に設立されました。ハイボットはこれまで、極限環境におけるロボット技術の開発に特化してきました。また、AI を搭載した遠隔操作ロボットを製造・開発し、人間が過酷な環境で行う現場作業から解放されるソリューションを提供しています。ハイボットが製造してきたロボットは、捜索・救助活動や福島第一原子力発電所の廃炉作業等の現場に利用されています。

### <お問い合わせ先>

広報チーム（飯島、炬口）

電話番号: 03-5791-7526

e-mail : [press@hibot.co.jp](mailto:press@hibot.co.jp)